SUPER VORTEX ZERO RX-472 Telemetry System

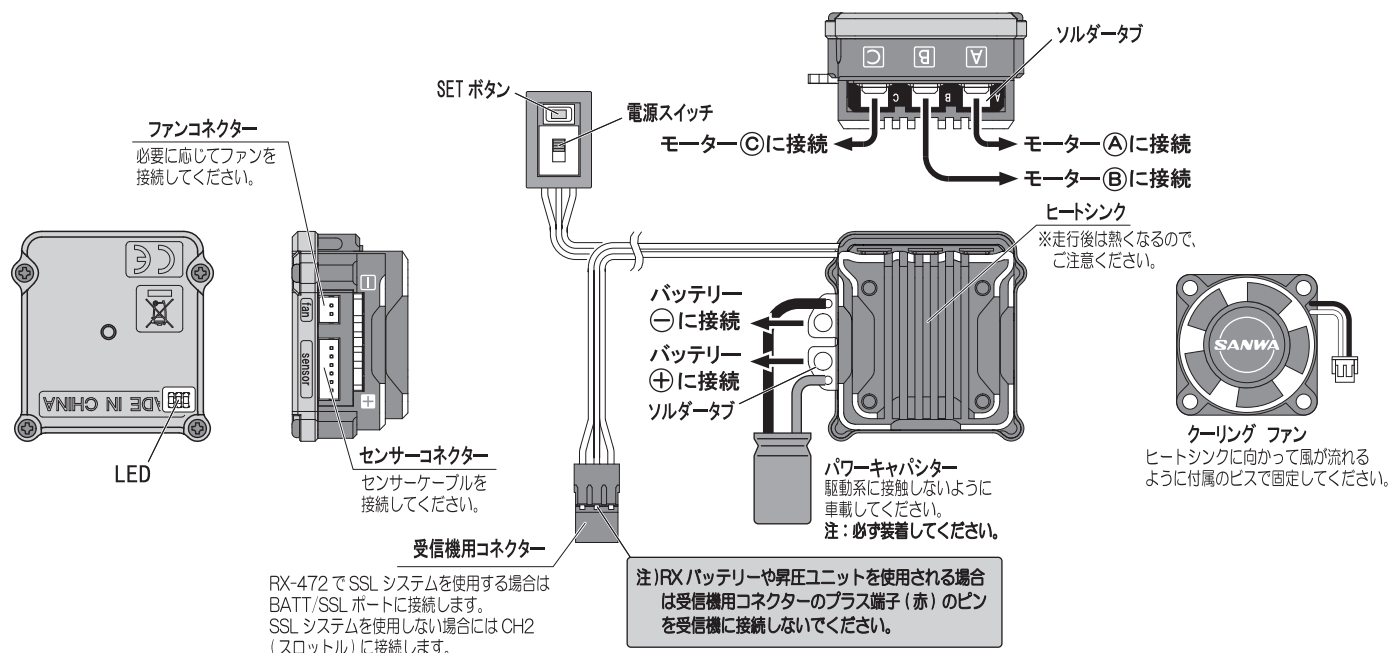
取扱説明書

このたびは、SANWA　SUPER VORTEX ZERO、RX-472 レシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、M12/EXZES ZとSUPER VORTEX ZERO、RX-472を組み合わせて動作するSSLシステムの取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。

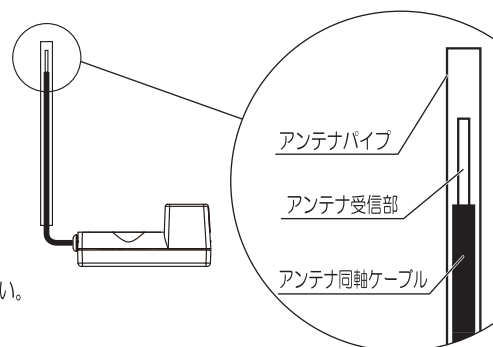
ＳＳＬシステムについて

M12/EXZES ZとRX-472、SUPER VORTEX ZEROを組み合わせることで、送信機からAUXチャンネル(CODE AUX1、CODE AUX2)を使用してSUPER VORTEX ZEROの設定値を変更できるSSL-コードAUXと、SUPER VORTEX ZEROがRX-472のBATT/SSLポートに接続されている場合にモーター回転数、バッテリー電圧、SUPER VORTEX ZERO本体とモーター温度(モーター内部に温度センサーが内蔵されている場合のみ)のデータが外部センサー不要で送信機にテレメトリー通信(送信機のテレメトリー設定が「ON」の場合)が可能なSSL-テレメトリーの２つの機能がSSLシステムです。
レースなどでAUX(3ch、4ch)の使用が禁止されている場合は通常の受信機と同様にRX-472の2CHに接続して動作させてください。

SUPER VORTEX ZERO 各部の名称

●SUPER VORTEX ZERO は付属の１２AWG パワーワイヤーでバッテリー、モーターに接続します。ハンダ付けの際は逆接やショートに注意してください。
　ハンダ付けの作業をおこなう際にはハンダこてをソルダータブに５秒以上あてないでください。(本体にダメージを与える場合があります。)
※12AWG パワーワイヤーは黒のみとなっておりますので、同梱の極性識別用収縮チューブを使用して極性を間違えないようにしてください。
●各ワイヤーをスピードコントローラー、バッテリー、モーターに接続してください。
　必ずセンサーケーブルを SUPER VORTEX ZERO とモーターに接続してください。

RX-472 Telemetry System 各部の名称

●受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
●右図のようにアンテナ受信部(先端から約3cm)を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
●アンテナ受信部は絶対に折り曲げないでください。また、アンテナ同軸ケーブルを無理に折り曲げないでください。
●同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破損の原因となります。

使用するまえに

●M12/EXZES ZのシステムメニューI内のAUX TYPEの設定を変更します。
出荷時にはAUX1とAUX2が[NOR]に設定されていますので、それぞれを[CODE]に変更します。
※AUX TYPEの設定変更をおこなわないとSSLシステムでSUPER VORTEX ZEROの設定値の変更はおこなえません。

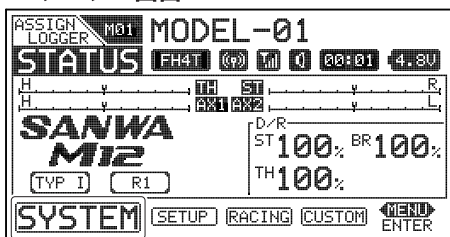
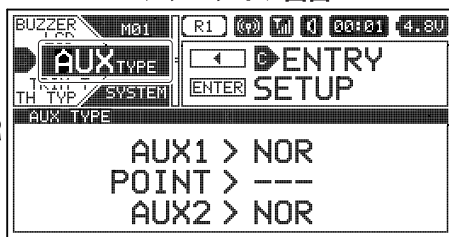
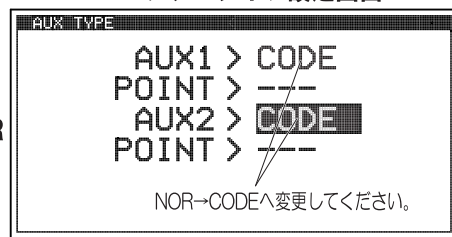
ステータス画面

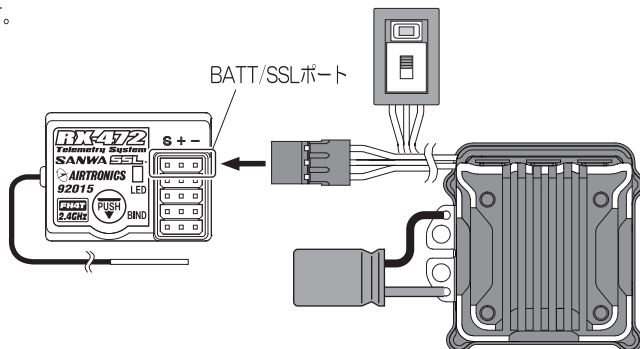
⇒ ENTER (エンター)

エーユーエックスタイプ画面

⇒ ENTER (エンター)

エーユーエックスタイプ設定画面

受信機への接続、レスポンスモードについて

●SUPER VORTEX ZEROの受信機用コネクターをRX-472のBATT/SSLポートに接続します。
**注)RX-472のBATT/SSLポートにはSSLシステムに対応した機器か受信機用バッテリー以外は
絶対に接続しないでください。RX-472が正常に動作しません。**
●送信機と受信機をBIND(バインド)します。
**注)BIND(バインド)する際にM12、EXZES Zの[MODULATION]が《FH4T/FH4FT》に
設定されていることを確認してください。《FH3/FH3F》ではSSLシステムは動作しません。**
●SSLシステム動作時にはSUPER VORTEX ZEROはSSLシステム独自の動作レスポンス
になります。(動作レスポンスとしてはSHRとSSRの中間になります。)
※NOR/SHR/SSRのレスポンスモードで動作させる場合には、SSL-コードAUXで送信機から
調整した各設定値をSUPER VORTEX ZERO本体に保存してから、受信機のCH2に接続
して使用してください。

セットアップについて

●SUPER VORTEX ZEROをセットアップする前にM12/EXZES Zの設定を下記の通りに合わせてください。

項目	設定
D/R-TH デュアルレート-スロットル ハイ側/ブレーキ側	TH 100% / BR 100%
EPA-TH エンドポイントアジャスト-スロットル ハイ側	100%H
EPA-TH エンドポイントアジャスト-スロットル ブレーキ側	100%B
EXP-TH エクスポネンシャル-スロットル ハイ側/ブレーキ側	0%
ARC-TH アジャスタブルレートコントロール-スロットル ハイ側/ブレーキ側	0%
スロットルトリム	センター
SUB TRIM-TH サブトリム-スロットル	0
スロットル リバース	NOR/REVどちらでも可 セットアップ完了後の変更は禁止

●セットアップ(ニュートラル/ハイポイント/ローポイント)は下記の手順にしたがっておこなってください。

	手順	図
1	スピードコントローラーの電源スイッチがOFFになっていて、バッテリーが接続されていない事を確認してください。 ピニオンギアをはずして、RCカーのタイヤに動力が伝わらないようにしてください。 スロットルトリガー/スティックをニュートラルにして送信機の電源をONにしてください。	
2	スピードコントローラーにバッテリーを接続して、 SETボタンを押しながら電源スイッチをONにしてください。 セットアップモードに入り緑のLEDが点灯します。	ON ⇐ SETボタン Push ⇨ 緑LED点灯 電源スイッチ
3	スロットルトリガー/スティックが **「ニュートラル」**の状態でSETボタンを押してください。 ニュートラルの位置が記憶されて、 緑が消えて青のLEDが点灯します。	ニュートラル ⇨ SETボタン Push ⇨ 青LED点灯 電源スイッチ
4	スロットルトリガー/スティックを **「フルスロットル」**にしてSETボタンを押してください。 フルスロットルの位置が記憶されて、 青が消えて赤のLEDが点灯します。	フルスロットル ⇨ SETボタン Push ⇨ 赤LED点灯 電源スイッチ
5	スロットルトリガー/スティックを **「フルブレーキ」**にしてSETボタンを押してください。 フルブレーキの位置が記憶されて、 青/赤/緑の全LEDが点灯します。 **※以上でセットアップは完了です。 途中で終了した場合に設定は保存されません。**	フルブレーキ ⇨ SETボタン Push ⇨ 全LED点灯 電源スイッチ

●スロットルトリガー/スティック操作時のLED動作

・RX-472のBATT/SSLポートに接続されている場合の
スロットルトリガー/スティックを操作したときの
SUPER VORTEX ZEROのLED動作

スロットル操作	LED動作
ニュートラル(SSL有効時)-ブースト動作OFF	緑色点灯+青色点滅
ニュートラル(SSL無効時)-ブースト動作ON	緑色点滅+青色点灯
フルスロットル以外の前進	緑色高速点滅
フルスロットル	青色点灯
フルブレーキ以外のブレーキ	赤色高速点滅
フルブレーキ	赤色点灯

**※RX-472のBATT/SSLポートに接続してSSL-コードAUX動作中にSUPER VORTEX ZEROのSETボタンを長押し(約4秒)すると送信機で設定した設定値がESC本体に保存されてSSL-コードAUX動作が無効になります。(緑色LED点滅)再度SETボタンを長押しするとSSL-コードAUX動作が有効になります。
(P.04のSSL-コードAUXで調整した設定の保存方法を参照してください。)**

・RX-472のCH2に接続されている場合でスロットルトリガー/スティックを操作したときのSUPER VORTEX ZEROのLED動作

スロットル操作	LED動作
ニュートラル-ブースト動作OFF	青色点滅
ニュートラル-ブースト動作ON	青色点灯
フルスロットル以外の前進(SSR動作時)	青色高速点滅
フルスロットル以外の前進(NOR/SHR動作時)	赤色高速点滅
フルスロットル	青色点灯
フルブレーキ以外のブレーキ	赤色高速点滅
フルブレーキ	赤色点灯

SSLシステムに対応していない機能の設定について

注)SUPER VORTEX ZEROのモード1～4はSSL-コードAUXには対応しておりません。使用する用途に合わせてあらかじめSETボタンで設定をおこなってください。
モード4の設定をブースト動作有りの「#2」に設定しないと、モード10～12の設定を変更しても動作には反映されません。

○モード1（カットオフバッテリー）※使用するバッテリーに合わせてカットオフバッテリーの設定をおこなってください。

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モードLED 1回点滅	なし(OFF)	3.0v	3.3v	3.6v	4.0v	4.4v	4.8v	5.2v	5.6v	6.0v	6.4v

○モード2（バックキャンセル：バックは前進の50%動作になります。）

設定	#1	#2
モードLED 2回点滅	バック動作無し	バック動作有り

○モード3（ヒートプロテクト：本体温度 / モーター温度）※モーター温度のヒートプロテクトはモーターに温度センサーが装備されていない場合は働きません。

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6
モードLED 3回点滅	120℃/80℃	120℃/90℃	120℃/100℃	120℃/110℃	120℃/120℃	OFF/OFF

○モード4（ブースト）※設定が#1の場合は青色LEDが点滅し、#2の場合は青色LEDが点灯します。

設定	#1	#2
モードLED 4回点滅	ブースト動作無し	ブースト動作有り

※レギュレーションでノンブースト/ゼロタイミングが規定されているレースに参加する場合は、モード4の設定は必ず「#1」に設定してください。

※SUPER VORTEX ZEROのSETボタンで設定してください。（表記中グレーの項目が出荷時の設定です。）

CODE AUX1の設定について

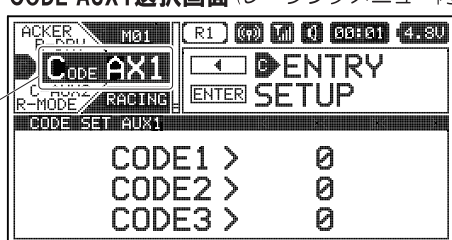
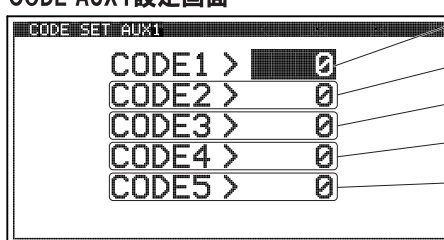
●送信機からダイレクトかつリアルタイムにSUPER VORTEX ZEROの各種パラメーターを変更するSSL-コードAUXは、M12/EXZES Zに装備されているレーシングメニュー内のCODE AUX1の設定値を調整することでおこなえます。

CODE AUX1のSUPER VORTEX ZEROでの対応機能について
マルチセレクターでCODE1～CODE5の設定値を使用する用途に合わせて調整してください。

CODE AUX1選択画面（レーシングメニュー内）

⇒ ENTER（エンター）

CODE AUX1設定画面

CODE SET AUX1
CODE1 > 0
CODE2 > 0
CODE3 > 0
CODE4 > 0
CODE5 > 0

CODE1→モード5に対応
CODE2→モード6に対応
CODE3→モード7に対応
CODE4→モード8に対応
CODE5→モード9に対応

CODE AUX1（モード5、6、7、8、9に対応）

送信機 機能	SUPER VORTEX ZERO 対応機能	CODE AUX 設定範囲
CODE AUX1 CODE1	モード5 フルブレーキレート	0～-100
CODE AUX1 CODE2	モード6 ニュートラルブレーキレート	0～100
CODE AUX1 CODE3	モード7 ドライブフィール	0～100
CODE AUX1 CODE4	モード8 ニュートラルブレーキフィール	0～100
CODE AUX1 CODE5	モード9 ブレーキフィール	0～100

注)M12/EXZES ZのCODE AUX1のCODE1～5の設定値が「0」の場合、RX-472のBATT/SSLポートに接続されていてSSL-コードAUXが有効の場合、電源をONした時点でモード5～9の設定が「#1」になります。使用する用途に合わせてあらかじめCODE AUX1の設定をおこなってください。

注)SSL-コードAUXが有効の場合に、SUPER VORTEX ZEROのSETボタンで設定変更をおこなった場合には、SETボタンでの設定が適用されますのでご注意ください。SETボタンで設定変更をおこなう場合に、プログラムモードの途中で電源をOFFにした場合には、変更した設定は本体に保存されません。必ずSETボタンを操作して、プログラムモードから動作モードへ移行してください。

SUPER VORTEX ZEROのCODE AUX1に対応する機能の設定について **（表記中グレーの項目がSUPER VORTEX ZERO出荷時の設定です。）**

○モード5（フルブレーキレート） **CODE AUX1-CODE1が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード5	100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%	20%	10%	0%

SETボタンでは10%刻みの設定ですが、SSL-コードAUXでは1%刻みの設定変更が可能（設定範囲0～-100%、CODE AUX1の設定が0の時にモード5が100%）

※フルブレーキレートを調整することで、スピードコントローラー側でブレーキの効きを調整できます。

○モード6（ニュートラルブレーキレート） **CODE AUX1-CODE2が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード6	0%	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%

SETボタンでは5%刻みの設定で、設定範囲は0～50%ですが、SSL-コードAUXでは1%刻みの設定変更が可能（設定範囲0～100%）

※ニュートラルブレーキレートを調整することで、スロットルトリガー / スティックがニュートラル時のブレーキ強さを調整できます。

○モード7（ドライブフィール） **CODE AUX1-CODE3が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード7	DF0	DF10	DF20	DF30	DF40	DF50	DF60	DF70	DF80	DF90	DF100

SETボタンでは10ステップ刻みの設定ですが、SSL-コードAUXでは1ステップ刻みの設定変更が可能（設定範囲0～100）

※設定値を高くすると、スロットルON時にモーターが滑らかに立ち上がるようになり、スロットルOFF時の回転落ちが早くなります。設定値を低くすると立ち上がりのパンチは出ますが、スロットルOFF時のモーター回転落ちが遅くなります。

○モード8（ニュートラルブレーキフィール） **CODE AUX1-CODE4が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード8	NBF0	NBF10	NBF20	NBF30	NBF40	NBF50	NBF60	NBF70	NBF80	NBF90	NBF100

SETボタンでは10ステップ刻みの設定ですが、SSL-コードAUXでは1ステップ刻みの設定変更が可能（設定範囲0～100）

※ニュートラルブレーキフィールを調整することで、ニュートラルブレーキの効き方を調整できます。設定値を高くするとニュートラルブレーキの効き方が滑らかになります。

○モード9（ブレーキフィール） **CODE AUX1-CODE5が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード9	BF0	BF10	BF20	BF30	BF40	BF50	BF60	BF70	BF80	BF90	BF100

SETボタンでは10ステップ刻みの設定ですが、SSL-コードAUXでは1ステップ刻みの設定変更が可能（設定範囲0～100）

※ブレーキフィールを調整することで、ブレーキ操作した時のブレーキの効き方を調整できます。設定値を高くするとブレーキの効き方が滑らかになります。

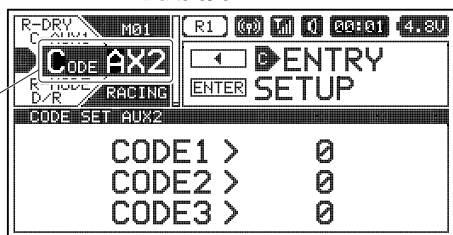
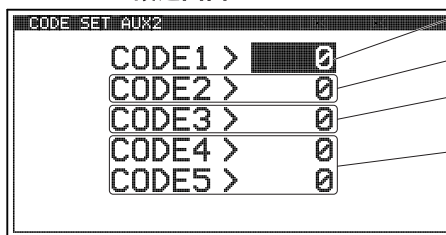
●送信機からダイレクトかつリアルタイムにSUPER VORTEX ZEROの各種パラメーターを変更するSSL-コードAUXは、M12/EXZES Zに装備されているレーシングメニュー内のCODE AUX2の設定値を調整することでおこなえます。

CODE AUX2のSUPER VORTEX ZEROでの対応機能について
マルチセレクターでCODE1〜CODE3の設定値を使用する用途に合わせて調整してください。

CODE AUX2選択画面（レーシングメニュー内）

CODE AUX2（モード10、11、12に対応）

CODE AUX2設定画面

CODE SET AUX2
CODE1 > 0
CODE2 > 0
CODE3 > 0
CODE4 > 0
CODE5 > 0

CODE1→モード10に対応
CODE2→モード11に対応
CODE3→モード12に対応
CODE4、5はSUPER VORTEX ZEROでは使用しません。

送信機 機能	SUPER VORTEX ZERO 対応機能	CODE AUX 設定範囲
CODE AUX2 CODE1	モード 10 ブーストレート / 進角の上限値	0〜100
CODE AUX2 CODE2	モード 11　ターボ	0〜20
CODE AUX2 CODE3	モード 12　パワーモード	0〜100
CODE AUX2 CODE4	—	—
CODE AUX2 CODE5	—	—

注）M12/EXZES ZのCODE AUX1のCODE1〜3の設定値が「0」の場合、RX-472のBATT/SSLポートに接続されていてSSL-コードAUXが有効の場合、電源をONした時点でモード10〜12の設定が「#1」になります。使用する用途に合わせてあらかじめCODE AUX2の設定をおこなってください。
※CODE4、CODE5はSUPER VORTEX ZEROには対応しておりません。

注）SSL-コードAUXが有効の場合に、SUPER VORTEX ZEROのSETボタンで設定変更をおこなった場合には、SETボタンでの設定が適用されますのでご注意ください。
SETボタンで設定変更をおこなう場合に、プログラムモードの途中で電源をOFFにした場合には、変更した設定は本体に保存されません。必ずSETボタンを操作して、プログラムモードから動作モードへ移行してください。

SUPER VORTEX ZEROのCODE AUX2に対応する機能の設定について（**表記中グレーの項目がSUPER VORTEX ZERO出荷時の設定です。**）

○モード 10（ブーストレート / 進角の上限値）　**CODE AUX2-CODE1 が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード10	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%

SET ボタンでは 10% 刻みの設定ですが、SSL- コード AUX では 1% 刻みの設定変更が可能（設定範囲 0〜100%）

※ブーストレートを調整することで、モーターへのブースト / ターボ（進角）の上限値を調整します。「#1」の設定ではブーストとターボは動作しません。
注）設定値を上げ過ぎるとモーターやスピードコントローラーが発熱して破損の可能性があります。

○モード 11（ターボ / スロットル全開時の進角加算）　**CODE AUX2-CODE2 が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード11	0%	2%	4%	6%	8%	10%	12%	14%	16%	18%	20%

SET ボタンでは 2% 刻みの設定ですが、SSL- コード AUX では 1% 刻みの設定変更が可能（設定範囲 0〜20%、20% 以上に設定しても上限値 20% のままです。）

※ターボを調整することで、スロットル全開時に動作するターボ（進角）の加算量を調整します。

○モード 12（パワーモード）　**CODE AUX2-CODE3 が対応**

設定	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11
モード12	P-Mode0	P-Mode10	P-Mode20	P-Mode30	P-Mode40	P-Mode50	P-Mode60	P-Mode70	P-Mode80	P-Mode90	P-Mode100

SET ボタンでは 10 ステップ刻みの設定ですが、SSL- コード AUX では 1 ステップ刻みの設定変更が可能（設定範囲 0〜100）

注）モード 4（ブースト）の設定をブースト動作有りの「#2」に設定しないと、モード 10、11、12 の設定を変更しても動作には反映されません。

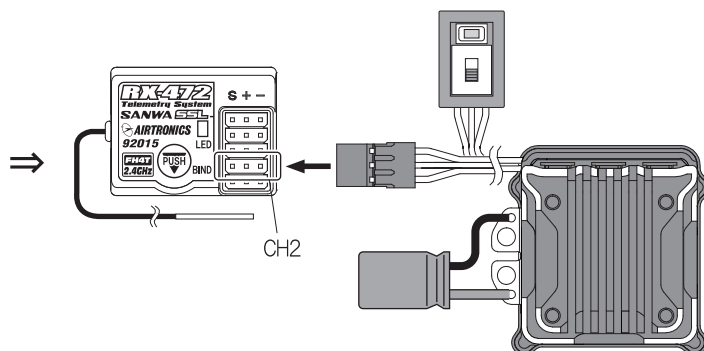
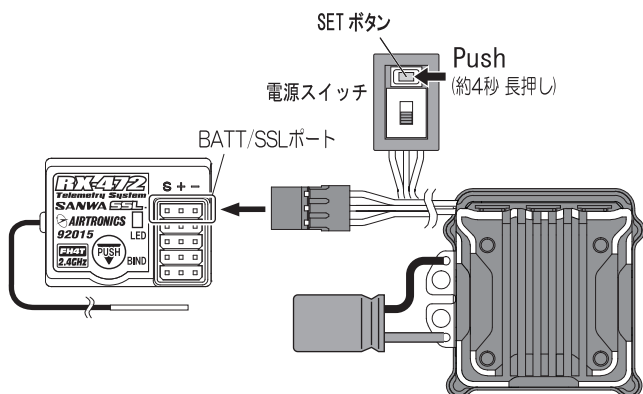
※パワーモードを調整することで、ブーストが動作するポイント（回転数）の調整をおこないます。
#1〜5 の範囲が低ターン数（10T まで）のモーター用、#6〜11 の範囲が高ターン数（10T 以上）のモーター用になります。
注）ターン数は目安です。モーターに合わせてパワーモードを設定してください。
注）設定値を上げ過ぎるとモーターやスピードコントローラーが発熱して破損の可能性があります。

SSL-コードAUXで調整した設定の保存方法について

●レースなどでAUX（3ch、4ch）チャンネルの使用が禁止されている場合や、SSLシステムを使用しない場合、NOR/SHR/SSRのレスポンスモードで使用する場合には、SSL-コードAUXで調整した設定値をSUPER VORTEX ZERO本体に保存してRX-472以外の受信機と同様、CH2に接続して動作させてください。

1）RX-472のBATT/SSLポートに接続されていて、SUPER VORTEX ZEROのLEDがSSL-コードAUXの有効を表す緑色に点灯している状態でSETボタンを長押し（約4秒）します。

2）SETボタンを長押しすることで、SSL-コードAUXの有効⇔無効が切り替わり、SSL-コードAUXが有効から無効になる際に送信機で設定した各パラメーターのデータがSUPER VORTEX ZERO本体に保存されますので、コネクターをCH2に差し替えて動作させてください。
※SSL-コードAUX無効時はLEDが緑色点滅になります。

⇒

※SSL-コードAUX無効時にBATT/SSLポートに接続した状態でも動作しますが、レスポンスモードはSSLしステム独自のレスポンスでの動作になります。
（動作レスポンスとしてはSHRとSSRの中間になります。）

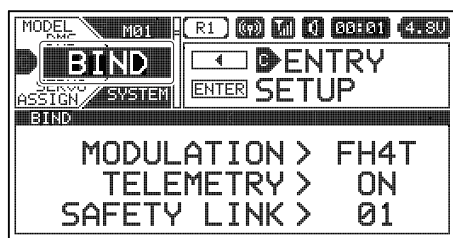
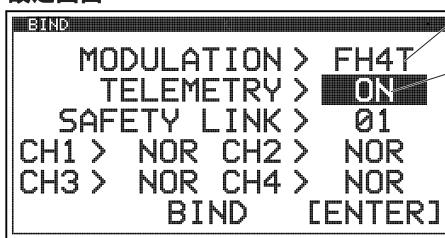
●M12/EXZES ZとRX-472、SUPER VORTEX ZEROを組み合わせることでSSL-コードAUXとSSL-テレメトリーの連携によってモーター回転数とバッテリー電圧、SUPER VORTEX ZERO本体とモーター温度(モーター内部に温度センサーが内蔵されている場合のみ)が外部センサーを搭載せずに送信機へテレメトリー通信をおこなえることと、送信機で設定した電圧や温度でブザーやバイブレーターを動作させることで機器の破損や損傷を未然に防ぐことができるようになります。

1)システムメニュー内のBINDメニューでMODULATIONが[FH4T/FH4FT]、TELEMETRYが[ON]に設定されていることを確認します。

注)TELEMETRYの設定が[OFF]の場合は[ON]に変更してください。(変更後、再BINDは必要ありません。)

⇒ ENTER (エンター)

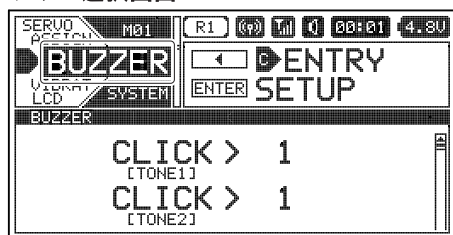
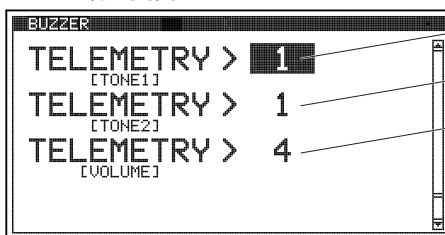
設定画面

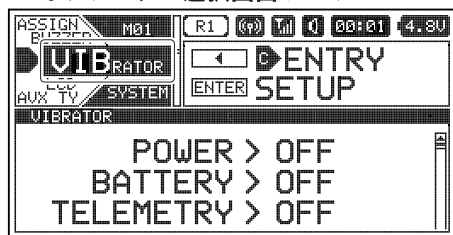
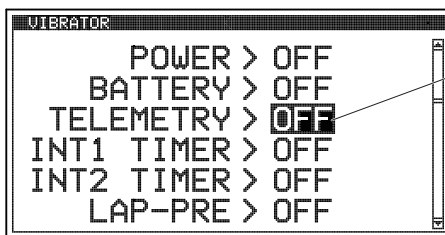
BIND
MODULATION > FH4T
TELEMETRY > ON
SAFETY LINK > 01
CH1 > NOR CH2 > NOR
CH3 > NOR CH4 > NOR
BIND [ENTER]

MODULATIONの設定が[FH4T/FH4FT]であることを確認

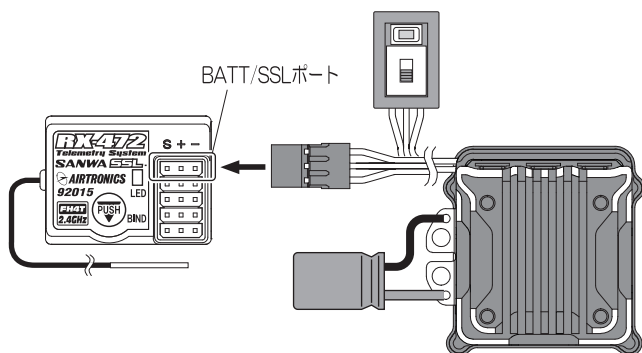
TELEMETRYの設定がONであることを確認

2)システムメニュー内のBUZZER(ブザー)の設定をおこないます。

ブザー選択画面 (システムメニュー内)

⇒ ENTER (エンター)

ブザー設定画面 (テレメトリー)

3)システムメニュー内のVIBRATOR(バイブレーター)の設定をおこないます。

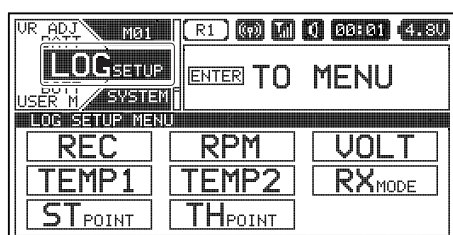
バイブレーター選択画面 (システムメニュー内)

バイブレーター設定画面

用途に合わせてON/OFFの設定をおこなってください。

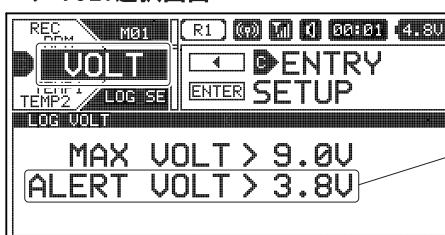
4)SUPER VORTEX ZEROがRX-472のBATT/SSLポートに接続されていていることを確認します。

5)システムメニュー内のLOG SETUP (ログセットアップ)のLOG VOLT(ログ ボルト)を設定します。

・LOG VOLTの設定

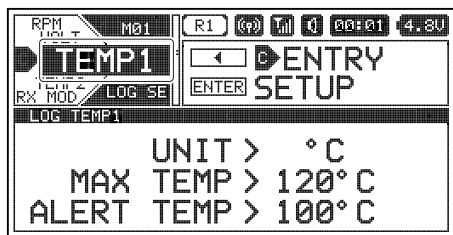
LOG SETUP内のLOG VOLTを選択してブザー/バイブレーターを動作させる電圧の設定をおこないます。

(※LOG VOLTは走行用バッテリーの電圧になります。)

ログ セットアップ選択画面 (システムメニュー ログセットアップ内)

⇒ ENTER (エンター)

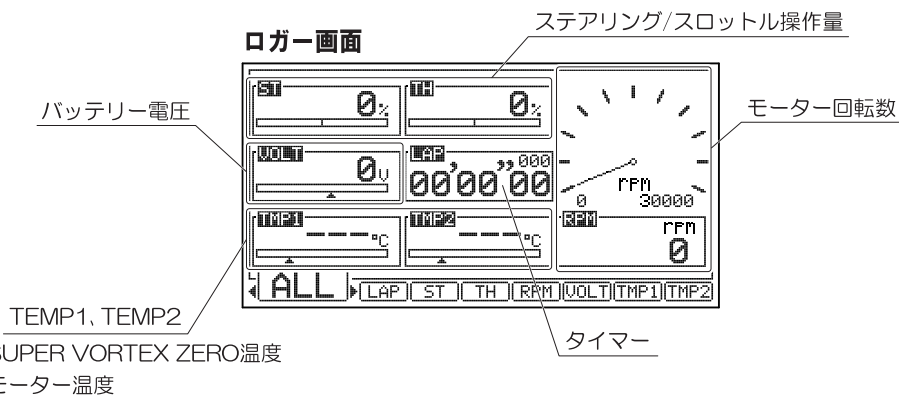
ログ VOLT選択画面

ブザー/バイブレーターを動作させる電圧を設定します。

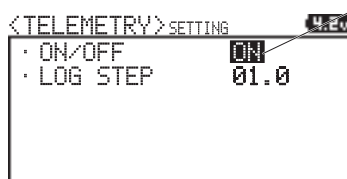
6)システムメニュー内のLOG SETUP (ログセットアップ)の LOG TEMP1、LOG TEMP2(ログ テンプ1、2)を設定します。
・LOG TEMP1の設定
LOG SETUP内のLOG TEMP1を選択してブザー/バイブレーターが動作する温度の設定をおこないます。
(※LOG TEMP1はSUPER VORTEX ZERO本体内部の温度になります。)

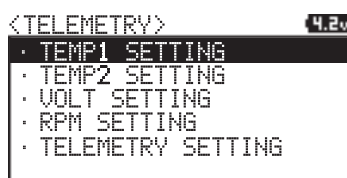
ログ テンプ1選択画面 (システムメニュー内)

ログ テンプ1設定画面

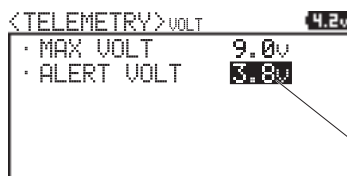
ブザー/バイブレーターを動作させる温度を設定します。

・LOG TEMP2の設定
LOG SETUP内のLOG TEMP2を選択してブザー/バイブレーターが動作する温度の設定をおこないます。
設定方法はLOG TEMP1と同様におこなってください。
(※LOG TEMP2はモーター内部の温度になり、モーター内部に温度センサーが内蔵されていない場合には動作しませんのでご注意ください。)

○以上の設定でSSL-テレメトリーにより、使用しているバッテリー電圧や機器の温度が設定した状態になるとブザーやバイブレーターを動作させることが可能になります。
SSL-テレメトリーが有効の状態でロガー画面上にモーター回転数、バッテリー電圧、温度2系統の情報がリアルタイムに表示されます。
※モーター回転数、バッテリー電圧、温度2系統のリアルタイム表示はMT-4でも可能です。TELEMETRY SETTINGメニューの設定で可能になります。

●MT-4でもSSL-テレメトリーによってモーター回転数とバッテリー温度、SUPER VORTEX ZERO本体やモーター温度が外部センサーを搭載せずに送信機へテレメトリー通信が可能で、送信機で設定した電圧でブザーを動作させることで機器の破損や損傷を未然に防ぐことができるようになります。
注)MT-4にはCODE AUX機能が搭載されておりませんので、SSL-コードAUXでSUPER VORTEX ZEROの設定値をMT-4から調整することはできません。

1)SYSTEMメニュー内のTELEMETRY SETTINGの設定を確認します。

OFFではテレメトリーは動作しません。

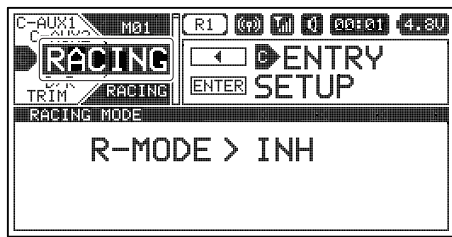
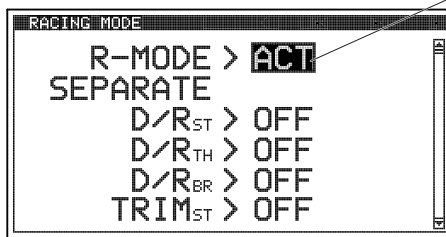
2)TEMP1、TEMP2 SETTINGのアラーム設定をおこないます。

3)VOLT SETTINGのアラーム設定をおこないます。

⇒
ENTER
(エンター)

<TELEMETRY>VOLT
・MAX VOLT 9.0v
・ALERT VOLT 3.8v

アラームを動作させる電圧を設定します。

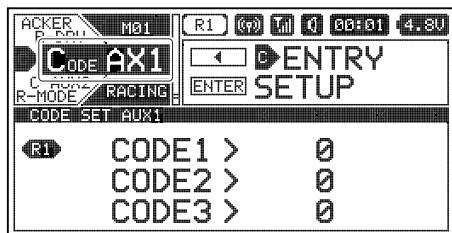
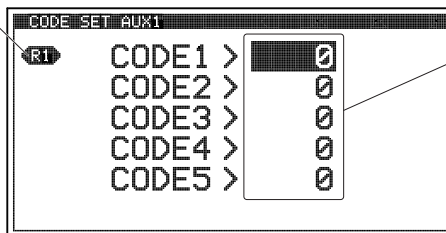
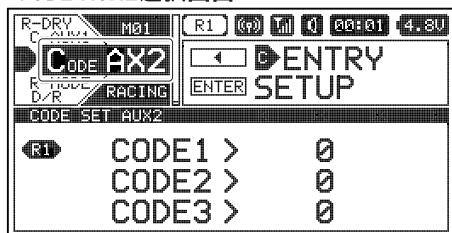
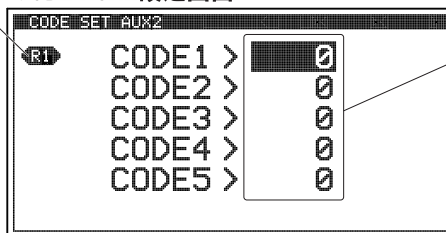
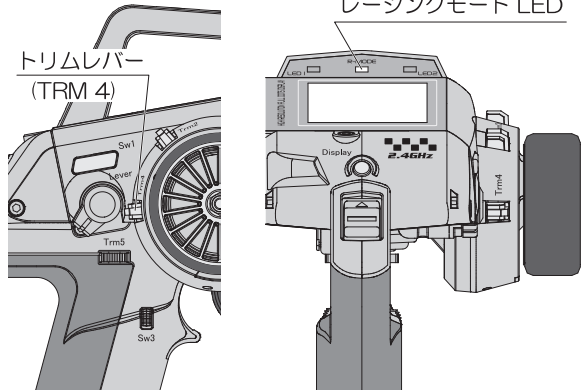
●M12/EXZES Zに搭載されているレーシングモード機能を使用して、SUPER VORTEX ZEROの設定値をあらかじめ数種類設定しておくことで、より短時間で使用するモーターの特性やドライビングの好みに合わせた設定値の組み合わせを絞り込む事が可能になります。
注)SSL-コードAUXが無効の状態ではレーシングモード機能を利用しての切り替えができませんのでご注意ください。

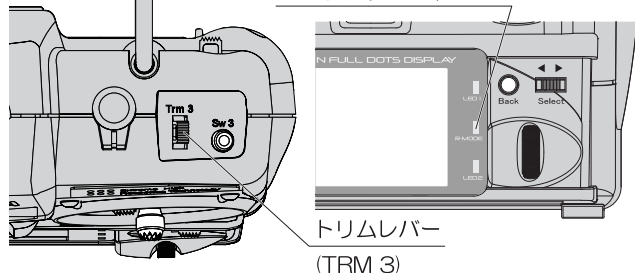
・RACING MODE(レーシング モード)の設定
レーシングメニュー内のRACING MODE(レーシングモード)を選択して[INH]→[ACT]に設定します。

レーシング モード選択画面（レーシングメニュー内）　**レーシング モード設定画面**

[ACT]に設定すると各メニューのSEPARETE(セパレート)が表示されます。
マルチセレクターを操作してCODE AUX1とCODE AUX2を選択して、設定を[OFF]→[ON]に設定します。

レーシング モード設定画面

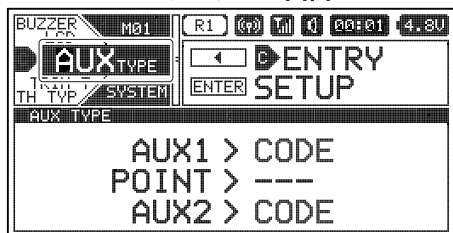
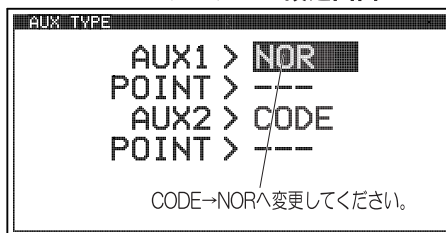
レーシングモードのCODE AUX1、CODE AUX2のセパレート設定を[ON]にするとCODE AUX1、CODE AUX2のCODE1〜CODE5の設定値をR-MODE1(レーシングモード1)〜R-MODE5(レーシングモード5)にそれぞれ５種類設定することが可能になります。
※SUPER VORTEX ZEROの機能に対応しているのはCODE AUX1のCODE1〜5、CODE AUX2のCODE1〜3になります。

CODE AUX1選択画面　**CODE AUX1設定画面**

CODE AUX2選択画面　**CODE AUX2設定画面**

レーシングモードの切り替えは、出荷状態ではM12はトリムレバー４(TRM 4)、EXZES Zはトリムレバー3(TRM 3)に割り当てられています。
機能が割り当てられたトリムを操作した時のレーシングモードLEDの色が変化することでレーシングモードの設定が確認できます。

レーシングモード LED表示

LED＼モード	OFF	R1	R2	R3	R4	R5
レーシングLED	OFF	グリーン	マゼンダ	シアン	イエロー	ホワイト

注)レーシングモードでの切り替えが可能な状態で、SETボタンを長押ししてSSL-コードAUXを無効にした場合には、選択されているレーシングモードの設定がSUPER VORTEX ZERO本体に保存されてSSL-コードAUXが無効になります。

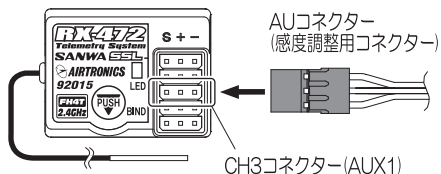
●M12/EXZES Zに搭載されているSSシステムを使用しながらAUX1、AUX2のどちらかのAUXチャンネルを使用してジャイロなど外部機器の調整をおこなえます。
SUPER VORTEX ZEROと併用する場合は使用する用途に合わせてCODE AUX1、CODE AUX2のどちらで外部機器の設定変更をおこなうか選択してください。

・AUX1で外部機器の調整をおこなう場合の設定
システムメニュー内のAUX TYPEのAUX1の設定を[NOR]に設定します。

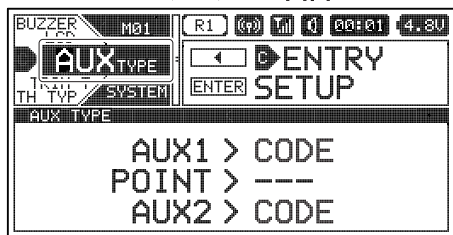
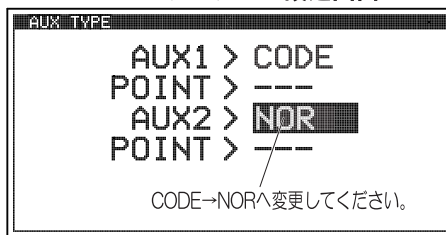
エーユーエックスタイプ画面

⇒ ENTER (エンター)

エーユーエックスタイプ設定画面

注)CODE→NORに切り替える前にSETボタンの長押しで送信機で設定した各パラメーターのデータをSUPER VORTEX ZERO本体に保存してください。

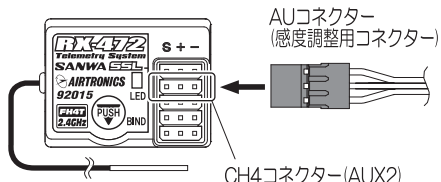
RX-472の[CH3コネクター]に外部機器のAUXコネクター(感度調整用コネクター)を接続します。

※SUPER VORTEX ZEROと併用する場合でAUX1(CH3)を外部機器の感度調整に使用する場合には、
SSLシステムでSUPER VORTEX ZEROの調整が可能になるのはCODE AUX2になります。
(対応した機能はモード10、11、12になります。)

・AUX2で外部機器の調整をおこなう場合の設定
システムメニュー内のAUX TYPEのAUX2の設定を[NOR]に設定します。

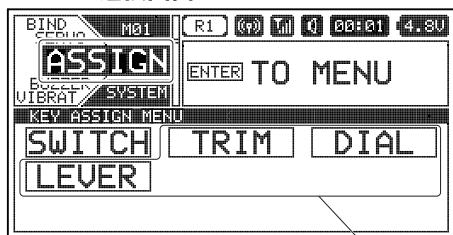
エーユーエックスタイプ画面

⇒ ENTER (エンター)

エーユーエックスタイプ設定画面

注)CODE→NORに切り替える前にSETボタンの長押しで送信機で設定した各パラメーターのデータをSUPER VORTEX ZERO本体に保存してください。

RX-472の[CH4コネクター]に外部機器のAUXコネクター(感度調整用コネクター)を接続します。

※SUPER VORTEX ZEROと併用する場合でAUX2(CH4)を外部機器の感度調整に使用する場合には、
SSLシステムでSUPER VORTEX ZEROの調整が可能になるのはCODE AUX1になります。
(対応した機能はモード5〜モード9になります。)

・外部機器の感度調整をおこなうには
M12/EXZES Zで外部機器の感度調整をおこなう場合はAUX1(CH3)、AUX2(CH4)の機能が割り当てられたボリューム/レバー/トリムでおこないます。
出荷状態では、M12/EXZES ZのAUX1(CH3)はダイアル、AUX2(CH4)はレバーに機能が割り当てられております。
用途に合わせて、使いやすい位置(トリム/ダイアル/レバー/)に感度調整をおこなう機能を設定してください。
設定を変更する場合はシステムメニュー内のASSIGN(アサイン)機能で設定をおこなってください。

アサイン選択画面

調整機能を割り当てる項目を選択して設定をおこなってください。
※設定についてはプロポの取扱説明書のASSIGN(アサイン)をご覧ください。